

ペットはマナーを守って飼いましょう



ペットの飼い方について苦情や相談が増えています。
ペットはマナーを守って飼いましょう。

犬の飼い主の皆さまへ



- 鑑札と狂犬病予防注射済票は、**かならず犬につけましょう。**
犬の登録と年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。



- 放し飼いはやめましょう。
犬の咬傷事故のほとんどが、放し飼いによるものです。散歩をするときも、必ずリードを装着しましょう。



- 無駄吠えをなくしましょう。
吠えたら叱るのではなく、吠えてしまう原因から取り除くことから始めましょう。



- 犬の周辺は常に
清潔にしておきましょう。



- 散歩中にしたフンは、
必ず持ち帰りましょう。



猫の飼い主の皆さまへ



- 屋内で飼いましょう。
屋外で放し飼いをすることにより、ケンカや交通事故でケガをしたり、病気をうつされたりするなどの被害にあるケースも多く見受けられます。



- 飼い猫であることがわかるように**首輪をつけ、名札などをつけましょう。**
首輪がない場合、野良猫との区別が付きません。猫は犬と違い、現状では登録が義務付けられていません。万が一の時のために迷子札を首輪につけておくと、飼い主の元に戻る可能性が高くなります。



- 不妊・去勢手術をしましょう。
産まれてくる子猫を飼えない、または新たな飼い主を見つけることができないのであれば、不妊・去勢手術を行いましょう。伯耆町では、飼い猫に対する不妊・去勢手術費の補助をしています。



▲伯耆町
ホームページ

- 野良猫へ無責任にエサを与えないでください。

不妊・去勢がされていなければ、どんどん増えて、ふん尿や鳴き声などによる周辺への被害や迷惑も大きくなります。無責任にエサだけを与えるのではなく、飼い主になって責任と愛情をもって飼育してください。



▲伯耆町
ホームページ



問い合わせ先

地域整備課 環境整備室

0859-68-5539